

令和8年度入学料徴収猶予申請要領【第1回目提出分】

下記に掲げる「1. 徴収猶予選考対象者」のいずれかに該当する場合は、本人の申請に基づき、選考の上、入学料の徴収を猶予することがあります。徴収猶予を希望する者は、下記により申請してください。

1. 徴収猶予選考対象者

- (1) 経済的理由により期日までに入学料の納入が困難な者
- (2) 入学前1年以内において、学資負担者の死亡または風水害等の災害のため、入学料の納入が困難であると認められる者
- (3) 上記に準ずる相当な理由があると認められる者

2. 申請書類

- (1) **入学料徴収猶予願** (別紙様式第2)・・・1～2頁 【第1回目提出】
- (2) **提出書類一覧表** (別紙様式3)・・・3頁
- (3) (2) で該当する書類



【第2回目提出】

3. 受付期間

入学手続開始日区分	12月12日	2月11日	3月7日	3月21日
【第1回目提出書類】				
申請受付期間	12月12日	2月11日	3月7日	3月21日
(1)入学料徴収猶予願提出期間	～	～	～	～
(受付期間必着)	12月19日	2月18日	3月15日	3月27日



第1回目の「入学料徴収猶予願」申請後に第2回目提出の手続きを進めてください。

【第2回目提出書類】

提出書類一覧表の該当書類
上記申請書類の(2)から(3)
令和8年3月15日～令和8年4月1日
(受付期間最終日の17時必着のこと)

4. 送付先

第1回目提出書類：入学手続書類に同封して提出してください。

第2回目提出書類：必ず簡易書留で下記宛てに郵送してください。

〒960-1296 福島市金谷川1番地 福島大学 学生支援課 生活支援係 入学料免除担当

5. 注意事項

- (1) すでに入学料を納入している者は、徴収猶予申請はできません。
- (2) 徴収猶予を申請した者は、その許可・不許可が発表されるまでの間は、入学料の徴収が猶予されます。
- (3) 選考結果については、学生向け連絡サイト (LiveCampus) でお知らせいたします。(7月下旬予定)
- (4) 選考結果が不許可になった者は、結果発表の日から14日以内に、所定の入学料を納入してください。(期間内に納入しないと除籍処分になりますので、十分、注意してください)
- (5) 申請書類に不備がありますと選考から除外されますので、本要領等を熟読の上、申請書類に不備がないよう注意してください。「入学料徴収猶予願」は令和8年4月1日現在の内容で記入してください。第2回目書類提出時に準備できない証明書類は、令和8年4月24日(金)までに、学生支援課へ提出してください。
- (6) 選考を適切に行うため、その事情を証明する書類が必要です。なお、提出いただいた個人情報は入学料徴収猶予選考以外の目的には使用されません。

入学料徴収猶予願

福島大学長 殿

学 類・大学院 ()

入 学 年 度 (令和8年度)

受 験 番 号 ()

申請者 氏 名
(自筆)

現 住 所

電話番号

令和8年度 入学料を入学手続終了日までに納入することが困難のため、徴収の猶予を許可くださるようお願いします。

記

1. 猶 予 期 限 令和8年9月1日(火)

2. 納入が困難な理由 (詳細に学生本人が記入すること)

.....

.....

.....

.....

3. 家族および収入状況

	続柄	氏 名	年齢	現在の職業(勤務先)	給与収入の計	給与収入以外の計
就学者を除く家族	本人			学生(福島大学)		
大学認定	家族数	人	独立生計者	<input type="checkbox"/> 該 当	母子父子世帯	<input type="checkbox"/> 該 当
	申請区分	1:一般 2:家計 3:学力 4:事由 5:事情(家計支持者死亡) 6:事情(災害) 7:事情(その他)				辞退 <input type="checkbox"/> 有り

※☐は、大学記入欄なので記入しないこと。

	続柄	氏名	設置区分	在学学校（学年）	通学区分	前年度状況（国立学校就学者のみ記入）				
						授業料免除状況		授業料年額（千円）		
						前期分	後期分			
就学者			※ 1:国立 2:公立 3:私立	※ 1 小学校 2 中学校 3 高校 4 大学 5 高専 6 専修学校（高等課程） 7 専修学校（専門課程） 8 その他 学校名 (年)	※ 1:自 宅 2:自宅外	※ 1:無 2:全額免除 3:半額免除	※ 1:無 2:全額免除 3:半額免除			
			※ 1:国立 2:公立 3:私立	※ 1 小学校 2 中学校 3 高校 4 大学 5 高専 6 専修学校（高等課程） 7 専修学校（専門課程） 8 その他 学校名 (年)	※ 1:自 宅 2:自宅外	※ 1:無 2:全額免除 3:半額免除	※ 1:無 2:全額免除 3:半額免除			
			※ 1:国立 2:公立 3:私立	※ 1 小学校 2 中学校 3 高校 4 大学 5 高専 6 専修学校（高等課程） 7 専修学校（専門課程） 8 その他 学校名 (年)	※ 1:自 宅 2:自宅外	※ 1:無 2:全額免除 3:半額免除	※ 1:無 2:全額免除 3:半額免除			
			※ 1:国立 2:公立 3:私立	※ 1 小学校 2 中学校 3 高校 4 大学 5 高専 6 専修学校（高等課程） 7 専修学校（専門課程） 8 その他 学校名 (年)	※ 1:自 宅 2:自宅外	※ 1:無 2:全額免除 3:半額免除	※ 1:無 2:全額免除 3:半額免除			
			※ 1:国立 2:公立 3:私立	※ 1 小学校 2 中学校 3 高校 4 大学 5 高専 6 専修学校（高等課程） 7 専修学校（専門課程） 8 その他 学校名 (年)	※ 1:自 宅 2:自宅外	※ 1:無 2:全額免除 3:半額免除	※ 1:無 2:全額免除 3:半額免除			
特別控除	母子父子世帯		※ 母無： 死亡・生別 (年 月) 父無： 死亡・生別 (年 月)				0:非該当 1:該 当			
	障がい者のいる世帯		続柄 () ※ 障がい者 ・ 原爆被爆者 (障害あり) 続柄 () ※ 障がい者 ・ 原爆被爆者 (障害あり)				人			
	長期療養者のいる世帯		続柄 () 1 か月当たり療養費 千円 療養期間 年 月から ※ 入院・通院・自宅療養 続柄 () 1 か月当たり療養費 千円 療養期間 年 月から ※ 入院・通院・自宅療養				合計 (年額) (千円)			
	主たる家計支持者の別居		1 か月当たり住居・光熱費等 千円							
	災害・風水害・盗難等の被害を受けた世帯		災害内容 被災額 千円							

記入上の注意

1. 〇の欄は大学記入欄なので、記入しないこと。
2. ※印は、該当箇所を○で囲むこと。
3. 記入内容は、**令和8年4月1日現在**で記入すること。
4. 申請者の欄は、**本人が自筆すること**。また、「2. 納入が困難な理由」は**学生本人**が記入すること。
5. 家族の職業は具体的に記入すること。専業主婦、無職等の場合であっても空欄とせず、その旨記入すること。

記入いただいた個人情報は、入学料徴収猶予選考のために利用され、その他の目的には利用されません。